

科目： 乳児保育 I (講義 2 単位)	担当教員名：海老澤宣子 担当形態：単独	使用テキスト：出版社名・テキスト名 寺田清美 (中央法規) 新基本保育シリーズ 乳児保育 I・II 監修 公益財団法人児童育成協会 編集 寺田清美・大方美香・塩谷香
授業到達目標及びテーマ： ○到達目標 保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき乳児保育の位置づけを理解する。また、保育の整合性を図り、保育の質を確保するため、特に 3 歳未満児の養護と教育の一体性を重要視する。子どもが「人」として生きていく上での基本となる心情・意欲・態度を獲得し、その力を利用して人格を形成していく大切な時期を保育することでの重要性を確認しつつ、その学びを身に付ける。		
授業概要： ・乳児保育の意義・目的と役割や現状と課題について学習する。 ・3 歳未満児の発育・発達を踏まえた保育について、乳児保育における連携・協働について学習する。		
回	項 目	内 容
1	オリエンテーション及び乳児保育の意義・目的と歴史の変遷	冒頭に授業の概要について説明を行う。また、乳児保育の定義、意義、目的、役割、機能や歴史の変遷についてと乳児期における養護と教育を理解する。
2	乳児保育及び子育て家庭に対する支援をめぐる社会的状況と課題	子育て世代を取り巻く社会的状況、家庭や地域における子育て機能の低下、社会の変容と子どもの育ちの実態、乳児保育と子育て支援、乳児保育の重要性を考え、支援の在り方や課題を学ぶ。
3	保育所における乳児保育	保育所の位置づけや役割、乳児保育の現状及び課題について理解する。
4	保育所以外の児童福祉施設（乳児院等）における乳児保育	児童福祉施設の基礎について学び、乳児院を中心とした乳児保育について理解を深め、乳児保育の現状と課題について考察する。また、乳児院の役割と支援方法を理解し、乳児保育の基礎的理解を深める。
5	家庭的保育・小規模保育における乳児保育	家庭的保育・小規模保育等の「地域型保育」の概要と乳児保育の実際について学ぶ。0～2 歳を対象とした定員 1～19 名の保育の特徴、課題を把握し、実際を学ぶ。
6	3 歳未満児とその家庭を取り巻く環境と子育て支援の場	子育て支援の現状及び、実践と支援の実際について理解し、具体的なそれぞれの支援を紹介し、その目的や方法を学ぶ。子育て支援において必要とされる保育者の専門性を生かした支援とはなにかについて考える。
7	3 歳未満児の生活と環境	乳児保育における生活の場としての環境の整え方、その実際、研究について理解し、保育の方法である環境を通した保育とは何かについて学ぶ。
8	3 歳未満児の遊びと環境	環境を通して行う保育や遊び、0 歳児の遊び環境の整え方及び安全・配慮、また、1 歳以上 3 歳未満児の保育における環境構成について理解を深める。
9	3 歳以上児の保育に移行する時期の保育	保育所保育指針では、乳児保育（1 歳未満児）について 3 つの視点ごとに「ねらい」「内容」及び「内容の取扱い」を示し、1 歳以上児 3 歳未満児のねらいと内容及び内容の取扱いでは 5 領域へとつながる。指針を踏まえ、養護と教育の視点も加えながら、3 歳以上児の保育に繋がる移行までを年齢別に学ぶ。
10	3 歳未満児の発育・発達を踏まえた保育者による援助やかかわり	保育所保育指針の乳児保育に関する記載ポイントを理解し、乳児保育の原則に沿って発達を考慮しながら保育を進めることを理解する。0 歳児・1 歳以上 3 歳未満児の発達の様相と援助のポイント、配慮事項を学び、保育実践の手がかり

		りとする。
1 1	3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮	0歳から3歳までの乳幼児は発達が著しく、個人差が大きいため一人ひとりの子どもに応じた発達の援助が求められる。生命の保持と情緒の安定が特に重要となるため、発達に応じた安全・安心の保育をするためには保育者はどのような配慮をすべきかを指針に即して学ぶ。
1 2	乳児保育における計画・記録・評価とその意義	保育計画と実践及び記録から評価について学ぶ。保育の質、記録と保育の質の向上について理解する。
1 3	職員間の連携・協働	子どもや保護者にとって保育者の存在はどのようなものか、また求められる専門性や人間性について理解する。また自分自身の課題を見つける。
1 4	保護者との連携・協働	子育て支援の必要性と保育者の役割、「保育の専門性」を活かした保護者支援また、事例を通してみる保護者との連携・協働について理解する。
1 5	自治体や地域の関係機関等との連携・協働	保育所と地域の社会資源、家庭的保育・小規模保育との連携、地域子育て支援との連携について学ぶ。また、児童虐待防止対策について理解する。
1 6	試 験	乳児保育Iで学んだ意義や目的、役割、乳児保育の現状と課題、3歳未満児の発育・発達を踏まえた保育における配慮、乳児保育におけるとの連携・協働について
○参考資料： やさしい乳児保育・基本保育シリーズ乳児保育16・保育所保育指針・幼保連携型認定こども園教育・保育要領		
○学生に対する評価方法： 期末試験・レポート提出・授業態度等を総合的に評価する。		
【海老澤 宣子】 東奥幼稚園 元園長		